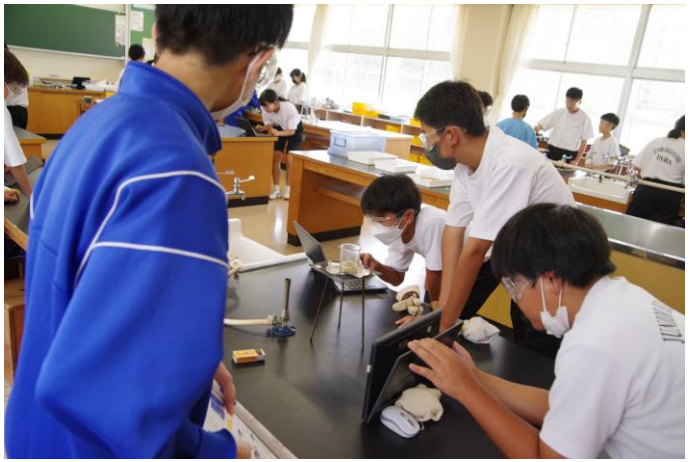
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

印西市立印旛中学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 実験説明動画、実験のデータ･グラフ等の共有

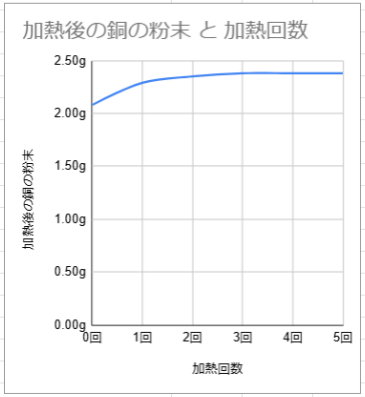


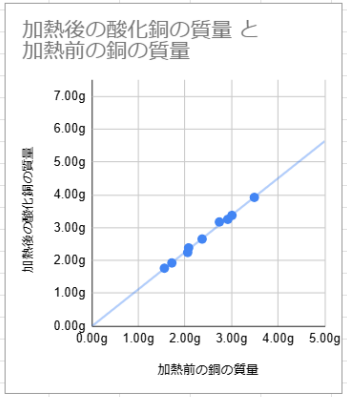
２班のデータ

加熱回数（回）	0回	1回	2回	3回	4回	5回		33.7	33.7
加熱後の銅の粉末（g）	2.08g	2.29g	2.35g	2.38g	2.38g	2.38g		35.78	35.99

質量の変化がなくなったら、実験を終了する

班	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班
加熱前の銅の質量（g）	1.72g	2.08g	2.92g	3.49g	1.56g	2.06g	2.37g	2.74g	3.01g
加熱後の酸化銅の質量（g）	1.92g	2.38g	3.25g	3.92g	1.76g	2.24g	2.65g	3.17g	3.37g





- 個々のペースで実験を進めるために**実験説明動画**を作成
- 実験の**写真や動画を共有**し、常に他の班の様子を参考に思考する
- グラフの作成や定量実験は**スプレッドシート**を活用してデータを集約

➢ 他の班と実験データの比較をすることで、実験結果の違いが起きる原因を主体的に探ろうとする姿が多く見られた。